

7月28日(日)に iichiko 総合文化センターで開催される、「第61回大分県吹奏楽コンクール 小編成部門 中学生の部」への意気込みを部長の吉野芽唯さんに聞きました。

吹奏楽部の目標は金賞を獲ることです。そのために1日1日の練習を大切に全力で取り組んできました。特に基礎練習や講師の先生方に教えてもらったところを自分たちで工夫して音を奏でました。本番では緊張したり、間違えたりすることがあるかもしれないけど、今までの練習の成果を発揮できるように頑張っていきます。



吹奏楽部のコンクール出場に向けて、教職員や各学年の代表生徒が書いた激励メッセージを寄せ書き風に貼り合わせて掲示しました。その中のメッセージを紹介します。

木下愛美さん(7年生)

私は部活中や部活終わり、いろんなイベントで演奏を聴いてきました。いつ聴いてもいい演奏で、特に部活中に聴くと頑張ろうという気持ちになります。みなさんの演奏は聴いている人を元気づける力があると思います。練習したことを活かして堂々と演奏を頑張ってください。実際に聴きに行くことはできないけど、応援しています。

竹田穂乃香さん(7年生)

7月28日にある大分県吹奏楽コンクールは、7年生は初めてのコンクールだと思います。皆で力を合わせて最高の思い出にしてください。今年は2人しか入っていないで大変だと思います。様々な楽器を演奏するのは簡単ではないと思うけど、とてもいい演奏ができれば、その分やがいを感ぜられると思います。本番は見に行くことができるか分からないけど、いい演奏ができるように頑張ってください。

心を磨くトイレ掃除

7月10日(水)「生徒会執行部」と「豊かな心プロジェクトチーム」の取り組みとして『自分たちが日頃使用しているトイレに感謝し、心を込めて掃除する』ことを「めあて」に、体育館やグラウンドを含めた校内18か所すべてのトイレを全校生徒で掃除しました。

生徒の感想

9年生 川原田蒼空くん

トイレ掃除では、指示をしっかりと出して順番にきれいにできました。ほかの人も隅々まで掃除をしていてスムーズに終わったし、とてもきれいにできたので良かったです。

8年生 吉野 可純さん

暑い中の作業でとても大変だったけど、同じ場所の人たちと協力してできました。きれいになってうれしかったです。これからも気が付いたときにきれいにしていきたいです。

7年生 松長 優奈さん

心を磨くトイレ掃除をして、自分の心もスッキリしたし、これから汚れていたら少しでもきれいにしようと思いました。

